

鹽竈十番

しおがまさま

第 201 号



御座船「鳳凰丸」で海上を渡御する鹽竈神社御神輿（みなと祭）

鹽竈神社例祭

七月十日（木）

来る七月十日（木）に鹽竈神社例祭が斎行されます。

祭典中に執り行われる特殊神事「御出幣式」では、別宮・左宮・右宮の各御本殿内に奉安されている御神幣を禰宜ら所役の神職三名が奉戴して隨身門まで進み、まず南面して左・右・左の順に振り奉り、次に北面して同様の所作を行います。この神事は、国家の安泰と国民の平和を祈るもので、もとは国司が管掌したものと伝えられており、近世までは「御朝参神事」とも称して筆頭禰宜家が相伝する秘事とされました。

また、七月十三日（日）には境内の馬場において流鏑馬神事が執り行われます。この神事は、鎌倉時代に国府の留守職に任じられた伊沢家景が部下の士気を高めるために三頭の馬を献じて流鏑馬を行ったことに始まると伝えられ、もとは例祭当日に執り行われていました。

このほか、例祭に合わせた神賑行事として絵馬殿において市内小学校児童による書道展が開催されます。



盛砂を進む御神幣



流鏑馬神事



御出幣式

塩竈みなと祭

七月二十一日(月・海の日)



七月二十一日(月・海の日)、みなと祭が斎行されます。

祭典当日は、志波彦神社と鹽竈神社の御両社の御神輿が市内を巡行したのち、それぞれ龍鳳丸と鳳凰丸の御座船に奉安されて海上を渡御するほか、表参道下での陸上パレードなどが催されます。また、前日夜の前夜祭では午後八時より塩釜港での花火大会が予定されています。皆様お誘い合わせのうえお楽しみください。



ご挨拶

志波彦神社 名誉宮司 鍵 三夫

この度、五月三十一日付を以て宮司を退任し、名誉宮司に推挙されました。昭和四十九年九月に奉職して五十年、平成十九年に宮司就任して十八年大過なく神明奉仕出来たことは、大神様の御加護はもとより皆様方の公私に亘る格別のご支援ご芳情に依るものと衷心より深く感謝申し上げます。この間、第十八回鹽竈神社式年遷宮及び志波彦神社遷祀百四十年記念大祭を宮司として奉仕出来たことは、神職として大きな喜びでありました。尚、後任宮司には大瀧博司が就任致しましたので一層のご厚情を以てお力添え賜りますようお願い申し上げます。



就任の御挨拶

志波彦神社 宮司 大瀧 博司

この度、鍵宮司の後任として六月一日付けをもちまして神社本庁より宮司の大任を拝命致しました。素より浅学非才の身に職責の重さを痛感しておりますが、大神様のご加護のもと一意専心神明奉仕に励む所存でございます。顧みれば、昭和六十年に奉職以来今年で四十年を数えます。その間三代の宮司にお仕えし、先輩諸兄の御指導を仰ぎ、令和五年より権宮司として皆様方の御協力のもとご奉仕に努めて参りました。今後は、数々の大なる功績を残された鍵名誉宮司の意志を受け継ぎ、時代の変化に対応しつつも祭祀の厳修を第一に、微力ながら御神徳の発揚を軸として、伝統文化の護持継承、そして地域の発展のために力を尽くして参りたいと存じます。何卒今後とも尚一層の御指導御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。

宮城県無形民俗文化財

藻塩焼神事

七月四日・五日・六日

鹽竈神社例祭に先立ち、塩竈市本町に鎮座する御釜神社において藻塩焼神事が斎行されます。

この神事は、御祭神・鹽土老翁神の製塩の故事にちなむもので、七月四日の藻刈神事、同五日の水替神事、同六日の藻塩焼神事の一連の神事で構成される特殊神事です。

藻刈神事（七月四日）

七ヶ浜町花刈浜沖の海上に神事船を出し、ホンダワラと呼ばれる海藻を刈り採る神事です。刈り採ったホンダワラは、六日まで御釜神社において保管されます。



藻刈神事

水替神事（七月五日）

御釜神社に奉安される四口の鉄製平釜は神釜と呼ばれ、鹽土老翁神が製塩に用いられたものと伝えられています。神釜は常に水を湛えており、早魃にも干上がることなく、世に異変がある時は変色などを示すとされます。

年に一度、この水を汲み替える神事が水替神事で、神釜の水を汲み出したのち、松島湾釜ヶ淵に神事船を出して水を海中に返し、さらに満潮時の潮水を汲み帰って神釜を満たします。

尚、汲み出した神釜の水は少量が取り置かれ、藻塩焼神事の最後に神釜に戻されます。この所作には、神釜の水の永続性を保つ重要な意味があります。



水替神事

藻塩焼神事（七月六日）

藻刈神事で刈り採ったホンダワラを竹棚に広げ、上から海水を注いで塩分濃度の高い塩水（鹹水）を得る所作を行ったのち、これを煎熬して塩を得る神事です。調製された塩は、御釜神社例祭ならびに鹽竈神社例祭において御神前に供えられるほか、藻塩焼神事当日の参列者に御頒けいたします。



藻塩焼神事

氏子崇敬会春季大祭

五月十一日、氏子崇敬会春季大祭が斎行されました。当日は桑原茂会長以下一七九名が参列し、日頃の神恩に感謝するとともに会員各位の繁栄を祈願しました。

祭典後、役員への委嘱状交付ならびに名誉・特別会員に対する永年継続表彰が行われました。表彰者の御芳名を御紹介いたします。

令和七年度継続表彰者(敬称略)

◇四十年継続表彰

嶋 八夫

◇三十年継続表彰

今野設備工業㈱ 今野恭一

◇二十年継続表彰

キクニ㈱ 桑原茂

㈱三亥

㈱力ネヒロ 古川浩司

(有)サンワサービス 鈴木敏男

佐々木眞一

佐藤 昭

三浦 玉江

佐藤 照夫

㈱今野工業所 今野昭三

鈴木 綾子

東北ハードクローム工業㈱

永島健策

半澤 忠夫

櫻井不二男

㈱櫻井サイクル商会 櫻井保温

岩金 洋子

◇十年継続表彰

櫻井 有一

柿野 孝子

(有)中央交通 菅原周二

千田 忠一

㈱博光社 松本尚己

仙台千人講大祭

四月二十日、菊地宏幸講長以下二十名参列のもと仙台千人講大祭が斎行されました。また、祭典終了後に継続講員の表彰が執り行われましたので御芳名を御紹介いたします。

令和七年度継続表彰者(敬称略)

◇五十年表彰

菊地 宏幸

◇二十年表彰

川村 貞宣

御神田御田植祭

五月十日、当社の御神田において御田植祭が斎行されました。

当日は、時折雨粒が降る中ではありましたが、氏子青年会、敬神婦人講員を始め氏子少年団や各スポーツ少年団体等総勢一五〇名が参列し「ササニシキ」の苗を丁寧に植えました。

これから約四ヵ月、農耕と殖産の守護神である志波彦大神が見守る中、管理が行われ秋の収穫を待ちます。



責任役員就任奉告祭

任期満了にともない新たに当社責任役員が選任され、去る三月二十一日に就任奉告祭が斎行されました。

志波彦神社
鹽竈神社 責任役員

阿部 勘九郎 (重任)	阿部 仁 (重任)	佐藤 仁一郎 (新任)
佐浦 弘一 (重任)	渡會 邦彦 (重任)	



御釜神社朱鳥居再建工事竣工

御釜神社の朱鳥居は、経年の腐朽から昨年十一月下旬に解体撤去され再建工事が進められてきましたが、本年六月末に据付工事が完了しました。七月三日には竣工奉告祭が斎行される予定です。

本町地区のシンボルとして、堂々とした姿を取り戻した朱鳥居。再建にあたっては、御釜神社朱鳥居再建協賛会有志より御協力・御協賛を賜りましたので、ここに御芳名を御紹介いたします。

御釜神社朱鳥居再建

工事協力・協賛者（敬称略）

佐浦 弘一

御釜神社氏子祭典委員会

釜の前上町町内会

株式会社 鈴忠

黒田 義春

塩竈市福祉子ども未来部

合資会社 荒井時計店

株式会社仙台銀行塩釜支店

支店長 尾本 潤

伊藤 博章

カフエはれま

有限会社 榮太樓

株式会社 エンドーグループ

塩竈市教育部

塩竈市産業建設部

株式会社 佐浦

有限会社 市川紙店

株式会社 クレオバンテール

しおがまパノラマ

アンドモア

ひろ塾

有限会社 タンヨ

有限会社 中長

株式会社仙台銀行塩釜支店



吟詠吟舞奉納

六月八日、日本吟道奉賛会による第六十三回吟詠吟舞奉納奉告祭が斎行されました。当日は伊藤清洲会長はじめ会員ら参列のもと、左右宮拝殿において国歌ならびに鹽竈神社奉納詩を奉唱、祭典後は社務所大講堂において吟詠・吟舞が披露されました。

仕舞・謡曲奉納

六月一日、塩竈宝生会により別宮拝殿において仕舞「養老」が奉納されました。祭典後は、舞殿において仕舞・謡曲が披露されました。



平曲奉納演奏

四月十九日、一ツ目弁天会・仙台平家琵琶普及会により舞殿において平曲の奉納演奏が執り行われました。平曲は、「平家物語」を平家琵琶の音とともに語る伝統芸能です。



奉納御礼

■金三、四七五、〇三五円

御釜神社朱鳥居再建協賛会 殿

■刀 銘(表)陸奥国藤原安倫(裏)

慶応二年八月日、打刀拵共、一口

■脇指 銘(表)陸奥国藤原安倫

(裏) 尖戸氏以好作之、脇指拵共、

一口

仙台市 荒井 優 殿



銅板奉納者芳名

三月 茨城県 吉田 誠 殿

四月 大阪府 ほか一二四名

奥川 歩 殿

ほか一三五名

五月 富山県 村上 浩 殿

ほか一二八名

ご結婚おめでとうございます

三月

栗原市

菅原 大志

亘理郡

寺嶋まなみ

岩手県

渡辺 修平

塩竈市

松澤 見帆

栃木県

藤田 素輝

塩竈市

目黒 恵理

塩竈市

高橋 和也

四月

仙台市

日野 克俊

山形県

布施 春華

塩竈市

櫻井 優真

仙台市

土井 千紘

仙台市

渡部 瑞貴

東松島市

赤間 芹香

仙台市

熊谷 朋哉

仙台市

千葉 夏純

五月

刈田郡

岡本 和也

東松島市

半田 景子

山形県

伊藤 謙介

仙台市

中村 百合

福岡県

福岡 航

多賀城市

石橋 美佳

福島県

門馬 洋平

福島県

安藤 静香

仙台市

万城目篤志

福島県

村松 朋美

香港

呉 謹誠

岩沼市

清野あかり

五月

オーストラリア

ヒーバ バハール

仙台市

菊地 来夢

岩沼市

佐藤 壮

栗原市

菅原 美久

福島県

松本 雄大

柴田郡

岡 孝幸

大崎市

佐々木恭香

埼玉県

橋本 駿平

塩竈市

添田 花織

多賀城市

細江 明宏

塩竈市

渡辺 晃子

愛知県

石田 晃啓

石巻市

横江 采加

(敬称略)





祭事案内

七月から九月

毎月

朔日祭

曲木神社月次祭

御釜神社月次祭

鹽竈神社月次祭

志波彦神社月次祭

七月

藻刈神事

水替神事

藻塩焼神事

御釜神社例祭

牛石藤鞭社例祭

鹽竈神社例祭

流鏑馬神事

みなと祭

八月

曲木神社例祭

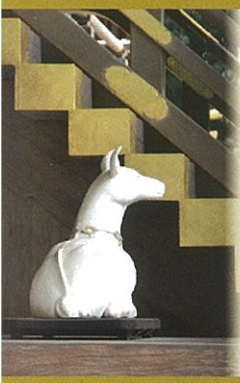
九月

志波彦神社

遷座記念祭

氏子崇敬会

秋季大祭



参拝記録

三月

石清水八幡宮特別崇敬者 瀧谷直文殿

立錫鹿島神社宮司 佐藤大和殿

奈良県薬師寺執事長 大谷徹契殿他 十名

福島県神社庁伊達郡支部楢扇会 七名

五葉神社宮司 長谷川瑞彦殿他 十四名

四月

一ツ目弁天会

五月

大槌稲荷神社氏子青年会

五月

大洗磯前神社氏子青年会 八名

五月

石清水八幡宮特別崇敬者 瀧谷直文殿

五月

一森会 会長渡邊市也殿他 二十九名

文芸欄

通学路は裏参道よ風薫る

七曲り坂の茶屋跡ほととぎす

海商の館に集ふ紫蘭咲く

たんぽぽの絮とぶ自由奔放に

一森のメタセコイヤの芽咲きけり

碧眼ののぞく日時計風薫る

五月雨や袴ぬらして禰宜通る

校歌の中の我らおとめや山清水

桜舞ふ融の君の背を追ふ

落し文二百二段の上り口

佐藤 悦子

齋藤 豊子

佐藤 光江

菅原 和子

池田 智恵子

鈴木 ゆう子

今田 須美子

上田 由美子

今野 紀美子

及川 源作

養成所通信

去る四月七日、志波彦神社鹽竈神社神職養成所の入所式ならびに進級式が挙行されました。本年度は、県外より二名の新入生を迎えたほか、在所生一名が進級いたしました。

新入生（普通課程Ⅱ類一年）

羽柴 悠斗（岩手県）

平野 雅以斗（埼玉県）

進級生（普通課程Ⅱ類二年）

小関 達也（山形県）



人事異動

退職

五月二十日付

禰宜

六月二十日付

巫女

永野 雄大

日野 愛咲

赤松

またのおか

まもなく夏本番。近年は日々記録を更新するような猛暑が続いております。皆様どうかご自愛下さい。（友）

社報「鹽竈さま」第二〇一号

発行日 令和七年七月一日

発行所 志波彦神社 社務所
鹽竈神社

〒九八五-八五一〇

宮城県塩竈市一森山一番一号

電話（〇二二）三六七-一六一代

<http://www.shiogamajinja.jp/>

